



日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

第107号

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

2011年

2月発行

http://www

.ab.cyberhome

.ne.jp/~nakanohp/

しん ぶん 赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円

日曜版1ヶ月 800円

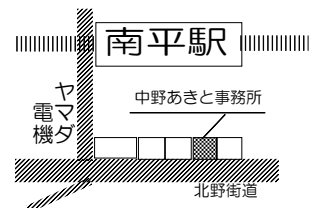
お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など

お気軽にお立ち寄り下さい



4月 実施方針

国保税 1世帯平均2万円の大幅値上げ

日野市国保税値上げ案

● 1人当たり (平均・年)

現行 68,106 ⇒ 80,509円

増加額 12,403円 (18.2%増)

● 1世帯当たり (平均・年)

現行 110,796 ⇒ 130,974円

増加額 20,177円 (18.2%増)

多摩地区でダントツの値上げ幅

(1人当たりの平均値上げ額・率)

日野市 12,403円 18.2%

府中市 8,239円 11.7%

町田市 6,125円 7.2%



馬場市長は、国民健康保険税(国保税)を4月から平均18%(1世帯当たり平均2万円・一人当たり平均1万2千円)の値上げを予定しています。近隣自治体と比べると、町田市の2倍、府中市の1・5倍という大幅なものです。この値上げについて市は「これまで『国保税』と国庫負担金等で不足する運営費を一般会計からの繰り入れ(市補助金)できたが、今後は繰り入れが増えるので、繰り入れが20億円を超える部分の半分を『国保税』の増額で賄いたい」としています。日野市の「国保」には、約2万8千世帯(総世帯数の36%)の市民が加入しています。高齢者、自営業者、失業者、無職の人が多く加入している医療保険であり、もともと国の手厚い援助がなければ成り立ちません。

ところが、政府は「国保」財政への国庫負担割合を1980年代の約50%から25%へと半減させてきました。ここに「国保」財政の困難の根本原因があります。国民生活がかつてなく深刻化する下でこれ以上の「国保税」値上げは、「国保税」を納められない世帯をさらに増やすばかりです。経済力が弱い国保加入者が、医療保険制度から排除されることとがないうちに「市民の実生活実態を無視した大幅値上げを中止せよ」という市民の声と運動が重要になっていきます。各地で国保税撤回の動きが出ています。立川市では総額1億5千万円負担増の国保税値上げを、「市民生活への影響を鑑み、今回の改定は見送るべき」と市長の諮問が否定されています。

学校の冷房化 最上階教室はこの夏 から使える方向に

日本共産党市議団は、1月25日、馬場市長に対して小中学校普通教室へのエアコン設置に関して、春休み中に工事ができるような措置をとること、エアコンの購入、設置工事は、中小企業育成、地域経済振興の観点から地元業者が受注できるような配慮を求める申し入れを行いました。申し入れに対して小川副市長は、「国や都との間で調整中」として、「可能な限り補正予算で対応したい」と述べました。通常の2011年度当初予算の対応では、この夏の使用に間に合わないからです。市としては3年間程度で普通教室にエアコンを設置していく方向であること、今年については一番暑くなる最上階の教室に全校設置することを考えていると回答しました。計画通りなら、早ければ今年の夏休み前から、遅くとも夏休み明けの2学期からはエアコンが使えることになりそうです。

短信

定年後をどう過ごす？ 考えておられる方も多いとおもいます。今までの仕事を生かして働くもよし、のんびり田舎暮らしを選択する人も居よう▼『新婦人しんぶん』に「主人在宅ストレス症候群」という特集が載った。「定年退職した夫がずつと家にいるようになって体調が悪くなった」という妻が目立ち始めたとのこと。夫が妻に与える束縛感がストレスになり、高血圧やうつ病などに現れてくるらしい。ジョークですむうちはいいが、こうなると、治療が必要になるそう。対策の一つに妻との接触を短くするとは、まことにつらい▼追い打ちは、フリーペーパー『リビング多摩』の「夫の更年期」の記事。男性ホルモンの減少で、妻にたいする依存度が高くなり、妻が出かけようとするたびに「どこへいくの？」と不安げに聞き始めたら兆候とのこと▼手前味噌を承知で言えば、後援会の溜まり場でもある当事務所では、その手の悩みをあまり聞かない。夫であれ妻であれ、それぞれの世界を持つが故か。世直しをしたいというお志があれば、当方の門戸は広い。「閉塞の世の打開」もかねて、一緒に如何であらうか。(旦)

違法操業の生コン工場 日野市は断固たる対応を

20年間にわたって生コン工場による騒音・振動・粉塵などの被害に悩まされてきた平山6丁目の住民は、「もう我慢ならない」と声を上げ、是正権限を持つ日野市と交渉を続けてきました。テレビ局も取材に入り幾度となく放映され、そうした経過の中で生コン事業者側は、「2年以内の業務完全停止」という是正計画書を日野市に提出するに至りました。

しかし、事業者が2年としてきた猶予期間は、あくまで移転に必要な用地確保や諸手続きにかかる期間であって、無条件、無前提に認められるものではないはずだ。

日野市は、昨年11月の住民に対する説明会で、用地確保後、移転に要する期間は、最短でも7ヶ月かかることを明らかにしました。だとすれば1年5ヶ月の段階、すなわち今年の11月末日の時点では、移転先の用地が確保されていなければなりません。



住民の「会」は、「期限内以内での移転ができないことが明確になる12月以降も、事業者が違法状態のまま、期限いっぱいまで操業を続けることなどは絶対に認められない」「日野市がそれを認めることになれば、法行政を放棄するに等しい」と申し入れ、断固たる対応をとるよう市に求めました。

以前、さいたま市におきた同様の問題では、移転にむけた手続き期限の履行が不可能になった時点で業務を停止し、速やかに違法状態の解消を図るよう、事業者に文書などで指導が行われていました。

「再編」でミニバスは良くなったか 南平の丘陵地で聞きました

昨秋のミニバス路線の再編以来中野事務所では、ミニバスが通る南平の丘陵地域で『みどりと清流』をお届けしている方々を中心に、要望をお聞きしてきました。

その結果、「本数が増えず不便です」「高幡不動駅から途中までは、混んで座れないお年よりもいて危険です」「もつと坂の上まで来るようにしてほしい（南平台上部の方）」「日野駅行きが打ち切られて不便になった」など、改善を求める多くの声が出されました。

また、中野事務所にも住民の方から、今ある北野街道口止まりを回送ではなく、北野街道を通り高幡不動駅に戻る循環路線にするなどの具体的提案が寄せられました。

急速に高齢化がすすむなか、生活の「足」に対する要望は丘陵地ばかりではありません。京王線の高幡不動駅と南平駅間は、2・4キロと沿線の中でも間隔も長く、その中間にある平坦地域でも、駅への連絡、買い物や施設への「足」の確保を求める声があります。

昨秋、「見直し」が行われたミニバス路線。まだまだ多くの要望が出されているのが現状です。

「一番橋通り」停留所は存続
昨年12月号で、「一番橋通り」停留所は、存続の方向で警察と相談するという市の回答をお知らせしましたが、立体交差後も、ほぼ現在と同じ位置に存続することになりました。

『ミニバスを改善していく会』が発足

南平の住民の方々による『ミニバスを改善していく会』が結成され、3月市議会にむけ「請願署名」を集める活動が進められています

【連絡先】 鈴木 090-1887-2343
長嶋 186-591-2786
植村 042-592-5493

◇◇ミニ・ニュース◇◇

■南平駅北口閉鎖で「会」が申し入れ

改良工事中の南平駅北口が1月初めから閉鎖されました。「いつまで閉鎖が続くのか」「期間の告知もない」などの苦情も寄せられ、『南平駅・バリアフリー化をすすめる会』では現地事務所に申し入れを行いました。その結果、

◇「北口」閉鎖は3月末までの予定で、その旨、近々「告知」する。（橋上駅舎になる）

◇安全対策として「警備員の配置」をきちんと行う。などの回答がありました。

全体の工事完成は、本年9月末の予定です。

■一番橋通りの立体交差の切り替え

2月13日（日曜日）に、現地で開通式が行われ、車道・歩道とも、京王線の下を通り抜けることになり、これまでの踏み切りは閉鎖されます。

なお、細部の仕上げ工事は、継続して行われます。

■豊田地区・区画整理懇談会開かれる

中野あきと市議を助言者とする豊田地域の区画整理懇談会が、1月16日に開催されました。区画整理の中でぶつかる問題について、「こんな時どうする？」と題して説明があり、活発に話し合いました。

《11年3月の無料法律相談》

市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
3月 10日（木）

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見をお寄せください